

技術評価報告書

申込者： 株式会社アクス 代表取締役社長 星 幸太
神奈川県川崎市川崎区浅田 4-6-7

技術名称： 仮設床開口補強筋セルボン設計施工要綱（2024 年）

当法人「建築構造技術審議委員会」において慎重審議の結果、2024 年 8 月 26 日付けの技術評価書(SABTEC 評価 16-04R4)の通り、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、本技術は妥当なものであると判断されたことを報告する。

2024 年 8 月 26 日

一般社団法人
建築構造技術支援機構
代表理事 益 尾 潔



建築構造技術審議委員会

委員長	窪田敏行	近畿大学	名誉教授
副委員長	田才 晃	横浜国立大学	名誉教授
委員	磯 雅人	福井大学大学院工学研究科	教授
"	岸本一蔵	近畿大学建築学部建築学科	教授
"	田中 剛	神戸大学大学院工学研究科	教授
"	都祭弘幸	福山大学工学部建築科	教授
"	三谷 勲	神戸大学	名誉教授



技術評価書

申込者：株式会社アクス 代表取締役社長 星 幸太
神奈川県川崎市川崎区浅田 4-6-7

技術名称： 仮設床開口補強筋セルボン設計施工要綱（2024 年）

技術概要： 仮設床開口補強筋セルボンは、セルボン筋、セルボン主筋、スライド筋からなる鉄筋ユニットであり、GBRC 性能証明 第 04-11 号（2004 年 11 月 2 日）、GBRC 性能証明 第 04-11 号 改（2014 年 3 月 24 日）を取得している。開発当初から 2016 年 7 月までの施工実績は約 80,000 箇所にも達しても、仮設床開口補強筋セルボンに起因して、仮設開口部周囲コンクリートのひび割れなど、使用上の支障は発生していない。

SABTEC 評価 16-04（2016 年 7 月 26 日）は、スラブ厚さの適用箇所拡大（150mm～300mm から 140mm～400mm）について行われ、設計施工要綱（2016 年）に、仮設床開口補強筋セルボンをボイドスラブやハーフプレキャストスラブなどの特殊形状スラブへの適用に関する基本事項が示されている。

また、SABTEC 評価 16-04R1（2019 年 3 月 29 日）では、特殊資材荷揚げ装置を用いる特型セルボンを追記し、SABTEC 評価 16-04R2（2022 年 6 月 24 日）では、セルボン委託加工工場での品質管理の妥当性について行われ、SABTEC 評価 16-R3（2023 年 3 月 7 日）の標準製造要領（2023 年）では、セルボン委託加工工場の製造責任者を一部変更し、SABTEC 評価 16-R4（2024 年 8 月 26 日）の標準製造要領（2024 年）では、セルボン委託加工工場を一部変更している。

本委員会は、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、下記の通り、本技術は妥当なものであると判断した。

2024 年 8 月 26 日

一般社団法人
建築構造技術支援機構
建築構造技術審議委員会
委員長 窪田 敏 行

記

評価方法： 申込者提出の下記資料によって、技術評価を行った。
仮設床開口補強筋セルボン設計施工要綱（2024 年）
仮設床開口補強筋セルボン標準製造要領（2024 年）
仮設床開口補強筋セルボン説明資料
これらの資料には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した技術資料がまとめられている。

評価内容： 仮設床開口補強筋セルボンは、仮設開口部周囲コンクリートのひび割れ抑制効果を有し、後打ちコンクリートで塞いだ鉄筋コンクリートスラブは、一体打ち無開口鉄筋コンクリートスラブと同等の長期許容耐力ならびに終局耐力を有すると判断される。